



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年1月23日

上場会社名 株式会社東京會館
 コード番号 9701 URL <https://www.kaikan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 訓章

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛸原 望

TEL 03-3215-2111

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,180	1.6	2,558		2,552		2,828	
30年3月期第3四半期	4,113	7.7	1,111		1,098		1,140	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	846.63	
30年3月期第3四半期	341.17	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	29,013		10,149			35.0
30年3月期	13,711		7,375			53.8

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 10,149百万円 30年3月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				10.00	10.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,280	17.6	4,090		4,180		1,155		345.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	3,463,943 株	30年3月期	3,463,943 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	123,015 株	30年3月期	122,618 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	3,341,172 株	30年3月期3Q	3,341,520 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の収益環境が改善するなかで設備投資など内需が堅調に推移する一方、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速による外需の景気牽引力低下などの不安材料もあるなかで推移しました。

このような経済環境のなか、平成27年1月末以降東京會館本館を休止して本館建替工事を進めてまいりました当社は、平成30年10月15日に東京會館ビル竣工を経て、平成31年1月8日の東京會館新本館グランドオープンをむかえました。

“世界に誇る施設ながらも、誰でも気軽に利用できる人々の集う社交場”としての東京會館誕生から約100年の時を経て、これまで愛されてきた伝統の味やおもてなしの心はそのままに、新生東京會館は、NEWCLASSICS.「新しくて伝統的」をテーマにお客様をお迎えしてまいります。当第3四半期累計期間は本館休館中であり、その間の収益源となる営業所の営業力・集客力の強化に引き続き取り組んでまいりました。その結果、前事業年度後半に日比谷営業所を閉店したものの、新本館プレオープンイベントの収入やオフィス賃貸収入を計上したこともあり、売上高は前年同四半期比1.6%増の4,180百万円となりました。

経費面では、継続的な原価管理の徹底や業務効率向上による人件費の抑制など、きめ細かなコスト管理に努める一方、新本館開業に向けた新卒採用、食器・調理器具の調達やウエディングサロンでの新本館婚礼先行受注活動、また、各メディアへの開業広告をはじめとした新生東京會館開業に向けたPR活動など、積極的な開業施策の実行に要する費用を計上いたしました。その結果、営業損失は2,558百万円（前年同四半期比1,447百万円の損失増）、経常損失は2,552百万円（前年同四半期比1,453百万円の損失増）となりました。

しかしながら、本館建て替え資金に充当するため、本館敷地を一部売却したことにより特別利益6,196百万円を計上した結果、四半期純利益は、2,828百万円（前年同四半期は1,140百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末に比べて15,301百万円増加し29,013百万円となりました。これは本館建替工事等により有形固定資産が10,280百万円増加したことが主因であります。

負債は、本館建替工事資金を借入金で調達したことなどにより有利子負債が11,015百万円増加し、前事業年度比12,527百万円増加の18,864百万円となりました。

純資産は、四半期純利益2,828百万円および期末配当の実施などにより前事業年度末に比べ2,774百万円増加し10,149百万円となりました。

これらの結果、負債比率は前事業年度末に比べて99.9ポイント増加して185.9%となりました。また、現下の低金利環境のメリットを享受するために本館建替工事資金の一部を借入金で調達しているため固定比率は216.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成30年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はございません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,701,419	5,349,877
売掛金	287,113	497,636
有価証券	-	9,999
商品及び製品	16,667	14,715
仕掛品	7,695	4,950
原材料及び貯蔵品	77,364	135,471
その他	338,986	999,090
貸倒引当金	△77	△1,151
流動資産合計	2,429,169	7,010,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	292,987	6,309,956
機械装置及び運搬具（純額）	67,777	70,967
工具、器具及び備品（純額）	162,295	302,021
土地	2,587,910	2,033,143
リース資産（純額）	5,509	1,978,115
建設仮勘定	4,974,025	7,676,539
有形固定資産合計	8,090,505	18,370,743
無形固定資産		
リース資産	2,655	68,583
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	5,664	71,593
投資その他の資産		
投資有価証券	1,778,579	1,771,156
繰延税金資産	301,345	329,117
その他	1,106,618	1,460,676
投資その他の資産合計	3,186,542	3,560,950
固定資産合計	11,282,712	22,003,287
資産合計	13,711,882	29,013,876

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,995	221,819
短期借入金	1,700,000	8,036,000
1年内返済予定の長期借入金	-	4,144,000
未払金	302,434	882,278
未払法人税等	53,714	814,673
賞与引当金	93,500	59,360
資産除去債務	37,660	12,618
その他	145,927	543,536
流動負債合計	2,456,232	14,714,286
固定負債		
長期借入金	1,680,000	-
退職給付引当金	1,803,098	1,679,354
資産除去債務	34,240	34,656
その他	363,121	2,435,845
固定負債合計	3,880,460	4,149,856
負債合計	6,336,693	18,864,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,883,140	2,883,140
利益剰余金	547,134	3,342,450
自己株式	△439,798	△441,362
株主資本合計	6,690,488	9,484,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	684,700	665,492
評価・換算差額等合計	684,700	665,492
純資産合計	7,375,189	10,149,732
負債純資産合計	13,711,882	29,013,876

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,113,799	4,180,734
売上原価	3,862,722	3,886,935
売上総利益	251,076	293,799
販売費及び一般管理費	1,362,240	2,852,222
営業損失(△)	△1,111,164	△2,558,422
営業外収益		
受取利息	232	51
受取配当金	30,593	35,095
受取保険金	-	18,200
その他	8,658	6,610
営業外収益合計	39,484	59,957
営業外費用		
支払利息	7,650	29,737
コミットメントフィー	18,526	24,159
その他	888	222
営業外費用合計	27,065	54,119
経常損失(△)	△1,098,745	△2,552,585
特別利益		
固定資産売却益	-	6,196,319
特別利益合計	-	6,196,319
特別損失		
固定資産売却損	6,217	-
固定資産除却損	-	15,265
解体撤去費用	-	85,121
特別損失合計	6,217	100,386
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,104,962	3,543,347
法人税、住民税及び事業税	10,215	763,891
法人税等調整額	24,860	△49,273
法人税等合計	35,075	714,617
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,140,038	2,828,729

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

該当事項はありません。